

平成24年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 和歌浦小学校
作成日	平成25年 3月 1日

1 教育目標

健康なからだ、たしかな考えと、豊かな心をもち意欲的に活動する子どもを育てる。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	学校の子どもへの誠実な取り組みが、PTA、地域の各種団体が力を出して、学校に協力できたことが良かった。ずいぶんと三者の信頼関係が深まっている。引き続き連携を深めてほしい。	読書活動に力を入れているのは、とても大切なことで、うれしいことだ。基礎学力のもとになるし、第一、豊かな心の育成にもつながるからだ。又、挨拶、清掃に力を入れているのもとてもうれしい。取り組みを続けてほしい。	特別支援学級1・2組とも子どもを中心に、生き生きとした授業が展開されていた。先生の指導がよくなされているのを感じた。又、通常学級でも子どもたちは学習課題に集中して学習していた。
取組の状況に対する意見	毎月の学校だよりが地域に回覧されてくるので、学校のことがよく分かり、理解も進むので続けてほしい。ホームページの更新もきちんとしてくれているので学校のことがよくわかり嬉しい。地域子どもセンターの活動も息長く続いておりすばらしい。	校長先生の朝の玄関でのあいさつ運動には敬意を表します。気持ちがあってもなかなかできないのが挨拶だ。とても大切なことから、学校・家庭・地域が協力し合っで三者共通の目標として取り組みを続けてほしい。	本年度の「学びの時間」の取り組みは、一人一人の基礎学力の向上に役立ち、素晴らしい取り組みだと思う。この取り組みが定着するようがんばってほしい。子どもに簡単なことでも達成感を味わわせてほしい。
検証結果に対する適切さ	「子どもまつり」の盛況に驚いた。保護者の方はもちろん、地域の民生委員さん方、公民館職員等、それぞれの出し物を分担した。子どもを中心として多くの大人もまつりを楽しんだ。	子どもと先生方がともに朝の掃除に力を入れての取り組みは素晴らしい。環境がきれいで整頓されていれば、学習も能率良く進むと思う。今、この大切で、基本的なことが軽視されがちであるが、ぜひ続けて取り組んでほしい。	書くことを苦手とする児童が多いので作文に力を入れたことは、とても意義あることと思う。自分の考え、意見を文章で表現することは、今後ますます必要になってくると思われる。だから、たくさん文を書けば、書くことの抵抗感が少なくなるものと思われる。
改善方法に向けての意見	学校から地域に声をかけることで、昔あそびなら「寿クラブ」へとそれぞれ得意の団体をお願いできた。地域の諸団体も学校の役に立てて嬉しい。子どものエネルギーにふれ、元気をもらえるとみんな喜んでいて、これも学校からの発信があるからだと思う。	読書活動の定着、そして掃除の取り組み、挨拶の重点化、これらの生活の基本となることを大切に、力を入れるのは素晴らしいことである。この方向で子どもたちにしっかりと力をつけてほしい。また、家庭・地域への挨拶運動を呼びかけてほしい。	表現する力の育成に、「私の作文」での学校賞受賞、それにミニ発表等成果はあがっていると思う。さらに、継続して表現力の育成にがんばってほしい。また、家庭にも積極的に働きかけ、子どもの学習習慣の育成は素晴らしい取り組みだと思う。

3 その他のご意見

見守り隊の人から、挨拶の返ってこない子どもの話も聞くが、簡単には行かない点もあると思う。学校・家庭・地域が「挨拶」を共通の課題として、より力を合わせれば、もっと成果はあがるものと思う。例として、「挨拶運動の標語づくり」などもいいかなと思う。

そして、不登校児への取り組みも功を奏して、不登校児もすばらしいと思う。それと、特別支援教育の支援体制づくりも進み、うれしいかぎりである。今後、子どもたちの友だちへの支援という視点もほしいと思う。運動場からすぐ山への避難の道も整備されたので、不十分な道かもしれないが、活用していただけたらと思う。今年度もきめ細かな、そして着実に進む学校運営ができたことを評価します。

